

スマート農業に関する外部講師の派遣依頼窓口（大学）

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類						概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安
								経営データ 管理	栽培データ 活用	環境制御	自動運転 /作業軽減	センシング /モニタリン グ	その他		
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 鮫島 良次教授 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	畑作		○					・生育シミュレーションモデルを使用 した収量の年次変動の解析。	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 岡田 啓嗣講師 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	農業気象		○				○	・一般的な気象観測および耕地にお ける微気象観測 ・気象データを用いた営農管理情報に ついて ・メッシュ気象モデルの利活用	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 谷 宏特任准教授 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般						○	リモートセンシング（特に人工衛星観 測）の利活用	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 石井 一暢准教授 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般		○			○	○	・ドローンや衛星画像を用いたりモ ートセンシングやセンシングデータを用 いた可変施肥技術開発、有人・無人協 働ロボットからマルチロボットまでの 制御や運用スケジューリング、ロボッ トの遠隔監視システムの開発など、計 測から制御、IoTデバイス開発など幅 広い研究開発を行い、これらに関わる プロジェクト等を実施している。	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 岡本 博史准教授 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般					○	○	スマート農業全般。特に農業ロボッ ト、衛星・低層リモートセンシング、 営農支援システムなど	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院農学研究院	・研究者名： 野口 伸教授 ・農学	北海道札幌市	大学院農学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-4004	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般					○	○	スマート農業全般。特に農業ロボッ ト、衛星・低層リモートセンシング、 営農支援システムなど	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院工学研究院	・研究者名： 江丸 貴紀准教授 ・農学以外	北海道札幌市	大学院工学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-6741	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般					○		・除草の機械化、斜面のある環境に対 応した作業機械等の研究開発をしてい る稲作、畑作、施設園芸等の分野のス mart農業に関する工学系研究者が所 属（参考： http://costep.open- ed.hokudai.ac.jp/like_hokudai/ contents/article/1225/ ）。 ・新しい画像認識技術やSLAM （Simultaneous Localization and Mapping）技術等を用いて、除草の 機械化や下刈の機械化を目指すプロ ジェクト等を実施。 ・講義対応可能	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度
北海道大学 大学院工学研究院	・研究者名： 渡慶次 学教授 ・農学以外	北海道札幌市	大学院工学研究院	□バスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-6741	robust@eng.hokudai.ac.jp	畜産（酪農）						○	・乳牛の早期妊娠検査を可能にする研 究開発をしている工学系研究者が所属 （参考： https://researchers.general.hokud ai.ac.jp/profile/ja.13094cd471bf 1d64520e17560c007669.html ）。 ・ペーパーマイクロチップ技術を使っ た、紙製チップに試料を塗布し、スマ ホで撮影するだけの簡易検査法（5分 で判定、撮影した画像をアプリで解析 して結果を表示）で、酪農場を支援 （経営改善）する共同研究等実施。 ・講義対応可能	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90 分程度

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類						概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安
								経路データ 管理	軌道データ 活用	環境制御	自動運転 /作業軽減	センシング /モニタリ ング	その他		
北海道大学 大学院理学研究院	・研究者名：高橋 幸弘教授 ・農学以外	北海道札幌市	大学院工学研究院	ロボスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-6741	robust@eng.hokudai.ac.jp	稲作						○	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫被害や生育状況、土壌状態などを低価格かつ高精度、多頻度で把握する、世界最高性能のスマホ分光器、ドローン及び超小型衛星を用いたリモートセンシング（スペクトル計測技術）の研究開発をしている理学系研究者が所属（参考：https://researchers.generalhokudai.ac.jp/profile/ja.57de23d74593301a520e17560c007669.html）。 ・ドローンカメラ、スマホ分光器の特許や国内随一の超小型衛星開発の実績を持つ。 ・講義対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90分程度
北海道大学 大学院理学研究院	・研究者名：栗原 純一 特任准教授 ・農学以外	北海道札幌市	大学院工学研究院	ロボスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-6741	robust@eng.hokudai.ac.jp	稲作						○	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星観測よりも高精度・低コストで水稻の生育や病害虫を診断できるUAV（ドローン）を用いた診断技術の研究開発している理学系研究者が所属（参考：https://researchers.generalhokudai.ac.jp/profile/ja.cf28c38c6a284119520e17560c007669.html）。 ・ドローン搭載用マルチスペクトルカメラの開発、超小型衛星搭載用マルチスペクトルカメラの開発、植生観測用ハイパースペクトルカメラの開発の実績を持つ。 ・講義対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90分程度
北海道大学 大学院情報科学研究科	・研究者名：田中 孝之 准教授 ・農学以外	北海道札幌市	大学院工学研究院	ロボスト農林水産 工学国際連携研究 教育拠点	011-706-6741	robust@eng.hokudai.ac.jp	全般					○	<ul style="list-style-type: none"> ・作業負担を軽減し、身体機能を維持する軽労化技術の研究開発している情報科学系研究者が所属（参考：https://researchers.generalhokudai.ac.jp/profile/ja.edbc476c6e46b098520e17560c007669.html）。 ・農作業の負担を軽減するスマートスーツの開発、つなぎ牛舎用搾乳ロボット導入評価の実績を持つ。 ・講義対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は2万円/90分程度 	
弘前大学農学生命 科学部	担当教員：張 樹槐 教授	青森県弘前市	農学生命科学部	総務グループ	0172-39-3748	jm2745@hirosaki-u.ac.jp	全般						○	<ul style="list-style-type: none"> ・リンゴ等の地域資源のスマート農業研究者が所属。 ・農業生産における農業機械技術を活用し、非破壊的な品質評価や高品質な農産物の生産に貢献するプロジェクト等を実施。 ・講義の対応可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は専職の規程に準じる
公立大学法人秋田 県立大学生物資源 科学部	生物資源科学部アグリビジネス学科 山本聡史准教授	秋田県秋田市	研究・地域貢献本 部	秋田キャンパス 地域連携チーム	018-872-1557	chiken@akita-pu.ac.jp	全般						○	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる生育情報解析 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）が必要 ・謝金については要相談
公立大学法人秋田 県立大学生物資源 科学部	生物資源科学部附属 フィールド教育研究センター 西村洋教授	秋田県秋田市	研究・地域貢献本 部	秋田キャンパス 地域連携チーム	018-872-1557	chiken@akita-pu.ac.jp	稲作		○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・営農管理支援システムの概要と活用事例 ・自動運転等スマート農機の概要と活用事例 ・ロボット農機の安全性確保策 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）が必要 ・謝金については要相談 	
公立大学法人秋田 県立大学生物資源 科学部	生物資源科学部アグリビジネス学科 山本聡史准教授	秋田県秋田市	研究・地域貢献本 部	秋田キャンパス 地域連携チーム	018-872-1557	chiken@akita-pu.ac.jp	施設園芸					○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸における収穫ロボットの開発状況（イチゴ収穫ロボット、イチゴバック詰めロボット） ・今年度から施設イチゴのスマート農業実証事業に参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）が必要 ・謝金については要相談 	

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類						概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安
								経営データ 管理	栽培データ 活用	環境制御	自動運転 /作業軽減	センシング /モニタリ ング	その他		
公立大学法人秋田 県立大学システム 科学技術部	システム科学技術学部 経営システム工学科 上原宏教授、鈴木一哉准教授	秋田県 由利本荘市	研究・地域貢献本 部	秋田キャンパス 地域連携チーム	018-872-1557	chiken@akita-pu.ac.jp	全般	○	○			○		<ul style="list-style-type: none"> 農業データ連携基盤（農業ビッグデータプラットフォーム）からのデータ収集方法 日本酒の輸出マーケティング スマート農業を支える通信・クラウド技術（LPWA, 5G等） 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費（実費）が必要 謝金については要相談
国立大学法人 山形大学農学部		山形県鶴岡市	総務課	総務担当	023-628-2805	nosyomu@im.ki.yamagata-u.ac.jp	全般	○	○	○	○	○	簿記・ 会計分 析	<ul style="list-style-type: none"> 経営データを用いた経営分析、診断、経営設計等の指導経験あり。（講義に対応可能） 水稲、園芸作目での人工知能とロボットの活用について 農業簿記・会計の講義 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼組織の旅費規程、謝金規程に従います。
新潟食料農業大学	・研修者名：趙 鉄軍 講師 ・農学	新潟県胎内市 平根台2416	総務課	総務担当	0254-28-9855	soumu@nafu.ac.jp	施設園芸			○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 環境制御技術 リモートセンシング（特にハイパスベクトルイメージング技術）の利活用 講義・実習とも対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼組織の旅費規程、謝金規程に従います。
宇都宮大学農学部		栃木県宇都宮 市	農学部	総務係	028-649-5398	nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp	畜産（全般）			○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 農林水産省のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトの採択課題の代表 次世代閉鎖型スマート搾乳牛舎の開発 スマート酪農 家畜の生体情報、空気衛生環境センシング技術 環境制御技術 モーションセンサーによる行動解析 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費（相手方機関の規程とあり）と謝金が必要 謝金の目安は4,500円/時間程度
茨城大学農学部附 属国際フィールド 農学センター		茨城県阿見町	国際フィールド農 学センター	国際フィールド 農学センター	029-888-8707	masakazu.komatsuzaki@vc.ibaraki.ac.jp	果樹・野菜（露地）					○		<ul style="list-style-type: none"> 果樹園および野菜栽培圃場における草刈ロボット活用技術とその実践について 講義、実習ともに対応可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費（実費）、謝金が必要 謝金の目安は農協の規定に準じる
千葉大学園芸学部	・教員一例（専門分野） 松岡延浩 教授（農業気象学） 後藤英司 教授（環境調節工学） 彦坂昌子准教授（環境調節工学） 丸尾 達 教授（蔬菜園芸学、植物工場等） 浄閑正史准教授（蔬菜園芸学） 渡辺 均 教授（花卉園芸学、健康機能性植物生産学） 塚越 寛准教授（蔬菜園芸学） 加藤 颯准教授（リモートセンシング、ドローン、精密農業）	千葉県松戸市	松戸地区事務部	松戸地区事務課総 務係	047-308-8706	zaf8703@office.chiba-u.jp	施設園芸	○	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 園芸学部では、栽培・育種関連、植物工場関連、応用生命化学関連、緑地科学関連、フードシステム（生産・流通・消費）など多岐にわたる分野の専門教員が在籍している。 派遣の可否については、農業大学校のニーズ等が明確になった（詳細依頼が届いた）段階での判断となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣時は兼業として処理 報酬の上限（5万円/時間（旅費等は除く）） 時間制限（週8時間以内）
千葉大学工学部		千葉県千葉市	西千葉地区事務部	理工系総務課総務 係	043-290-3034	mah3034@office.chiba-u.jp	全般					○		<ul style="list-style-type: none"> 本学部（研究院）では、ロボットや車両、飛行体等の機械システムの知能化・自律化についての教育・研究を行っている教員が在籍している。 派遣の可否については、農業大学校のニーズ等が明確になった（詳細依頼が届いた）段階での判断となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣時は兼業として処理 報酬の上限（5万円/時間（旅費等は除く）） 時間制限（週8時間以内）
東京農工大学農学部	帖佐 直	東京都府中市	農学部総務室	総務係	042-367-5655	asoyomu@cc.tuat.ac.jp	稲作 転換畑 果樹（ブルーベリー）					○	○	<ul style="list-style-type: none"> 水田におけるセンシングとデータの利活用 ブルーベリーを対象としたセンシングとデータの利活用 小型ロボットの導入による省力化技術 リモートセンシングによる情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼組織の旅費規程、謝金規程のとおり

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類						概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安
								経営データ 管理	栽培データ 活用	環境制御	自動運転 /作業軽減	センシング /モニタリン グ	その他		
東京農工大学農学部	辰己賢一	東京都府中市	農学部総務室	総務係	042-367-5655	asvomu@cc.tuast.ac.jp	稲作 畑作		○				○	<ul style="list-style-type: none"> ドローンを使った作物特徴量抽出と3次元再構成技術解析 衛星リモートセンシングデータを用いた作物フェノロジー解析 作物生長モデルによる生育シミュレーション 講義対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼組織の旅費規程、謝金規程のとおり
東京農工大学農学部	山下 恵	東京都府中市	農学部総務室	総務係	042-367-5655	asvomu@cc.tuast.ac.jp	稲作 畑作 その他(気象)						○	<ul style="list-style-type: none"> 空間情報技術を活用した地上(定点・UAV)から衛星までのマルチスケールでの農業環境および作物生育のモニタリングに関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼組織の旅費規程、謝金規程のとおり
三重大学	野中 章久	三重県津市	生物資源学研究科 チーム	総務担当	059-231-9626	bio-somu@ab.mie-u.ac.jp	稲作(育苗)、施設 園芸		○				○	<ul style="list-style-type: none"> 中・小規模農家におけるスマート農業技術導入の経営的優位性 次世代型農業者のための手作りスマート農業：IoTプロトタイプینگ・キットの活用法 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(大学の規定どおり)、謝金(依頼元の規定どおり)
三重大学	伊藤 良栄	三重県津市	生物資源学研究科 チーム	総務担当	059-231-9626	bio-somu@ab.mie-u.ac.jp	水稻						○	<ul style="list-style-type: none"> パイプライン地区の揚水ポンプ稼働状況をリアルタイムで配信して、畦抜けなどの異常を検知する技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(大学の規定どおり)、謝金(依頼元の規定どおり)
三重大学	伊藤 良栄	三重県津市	生物資源学研究科 チーム	総務担当	059-231-9626	bio-somu@ab.mie-u.ac.jp	果樹		○				○	<ul style="list-style-type: none"> 栽培現場に気象観測装置を設置し、VPNを介して安全に観測データを解析用サーバに転送する。サーバ上で栽培管理の1次指標、2次指標をリアルタイムで計算し、その結果を栽培者にフィードバックすることで年ごとに大きく異なる気象環境下で最適な栽培管理を可能にする技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(大学の規定どおり)、謝金(依頼元の規定どおり)
立命館大学生命科学部	生命科学部・教授 久保幹	滋賀県草津市 野路東1丁目 1-1	研究部	BKCRリサーチ オフィス	077-561-2802	vuurai@st.ritsumeiji.ac.jp	全般	○	○				○	<ul style="list-style-type: none"> 土壌分析データの活用等についてコンサルティングが可能。特に土壌の生物性に着目した土壌分析手法を確立しており、これまでの分析データベースに基づいた自動処方設計手法を確立している(参考：SOFIXとは：http://www.ritsumeiji.ac.jp/research/radiant/gastronomy/story5.html/) 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(実費)、謝金が必要 謝金の目安は3万円/時間程度
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	畜産(肉牛)						○	<ul style="list-style-type: none"> 肥育牛の情報収集とビタミンAのセンシングに基づく最適給餌 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(実費)、謝金が必要 謝金については要相談
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	畜産(鶏)						○	<ul style="list-style-type: none"> 有精卵のハッチングウインドウの制御、インキュベーター内での雌雄判定 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(実費)、謝金が必要 謝金については要相談
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	施設園芸 (品目問わず)						○	<ul style="list-style-type: none"> グリーンハウス内の自動化、ロボット化に基づく情報化、モニタリング、鮮度計測 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(実費)、謝金が必要 謝金については要相談
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	養殖						○	<ul style="list-style-type: none"> 生簀や陸上養殖における魚の体積計測、鮮度計測 情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 旅費(実費)、謝金が必要 謝金については要相談

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類						概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安
								経営データ 管理	栽培データ 活用	環境制御	自動運転/ 作業軽減	センシング/ モニタリング	その他		
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	ポストハーベスト				○	○		選別機械、選別ロボットに基づく情報化、センシングシステム	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金については要相談
京都大学	近藤 直	京都府京都市	農学研究科	地域環境科学専攻 生物センシング工学	075-753-6170	kondonao@kais.kyoto-u.ac.jp	果樹				○	○		フィールドでのモニタリング情報と選果情報に基づく樹木管理、選果システム用センサ	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金については要相談
岡山大学	安場健一郎	岡山県岡山市	農学部	総務担当	086-251-8282	gee8273@adm.okayama-u.ac.jp	施設園芸		○	○	○	○		・施設園芸（トマト、ピーマン、きゅうりなどの果菜類ほか）について、環境制御技術を活用しつつ、栽培データを収集し、経営等に活かす研究等を実施。 ・講義、実習ともに対応可能。	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金については要相談
岡山大学	福田文夫、河井 泰	岡山県岡山市	農学部	総務担当	086-251-8282	gee8273@adm.okayama-u.ac.jp	果樹（露地）				○			・モモにおいて、障害果の非破壊判別技術によって摘果や選果の作業を軽減する試験を実施 ・モバイル型音響装置での非破壊判別実習などの対応が可能	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金については要相談
愛媛大学農学研究科 ・農学部	生物環境学専攻 地域環境工学コース 地域水文気象学教育分野 教授 大上 博基	愛媛県松山市	農学部事務課	総務チーム	089-946-9803	agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp	全般					○		植生指標、植生温度などのセンシングデータを活用し、栽培管理への利用方法などについて、講義と一部実習が可能。	未定
愛媛大学農学研究科 ・農学部	食料生産学専攻 教授 植物工場研究センター長 有馬誠一	愛媛県松山市	農学部	植物工場研究センター（社会連携推進機構）	089-946-9805	jgh@agr.ehime-u.ac.jp	施設園芸（品目問わず）				○	○		・グリーンハウス内の自動化 ・ロボット化に基づく情報化	・旅費（実費）及び謝金が必要 ・謝金については要相談
愛媛大学農学研究科 ・農学部	食料生産学専攻 教授 植物工場研究センター副センター長 羽藤堅治	愛媛県松山市	農学部	植物工場研究センター（社会連携推進機構）	089-946-9805	jgh@agr.ehime-u.ac.jp	全般	○				○		画像データ計測と解析	・旅費（実費）及び謝金が必要 ・謝金については要相談
愛媛大学大学院農学研究科	食料生産学専攻 教授 植物工場研究センター副センター長 高山弘太郎	愛媛県松山市	農学部	植物工場研究センター（社会連携推進機構）	089-946-9805	jgh@agr.ehime-u.ac.jp	施設園芸（品目問わず）	○	○			○		・光合成と蒸散の基礎とその環境応答 ・植物生体情報を活用した環境制御の最適化 ・画像計測による植物診断 ・光合成計測チャンバーを用いた植物診断 ・生育調査データを用いた植物診断	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は3.75万円/回程度
豊橋技術科学大学 エレクトロニクス 先端融合研究所	高山弘太郎教授（先端農業工学分野 リーダー）	愛知県豊橋市	エレクトロニクス 先端融合研究所	研究支援課センター 支援係	0532-44-6574	kencen@office.tut.ac.jp	施設園芸（品目問わず）	○	○			○		・光合成と蒸散の基礎とその環境応答 ・植物生体情報を活用した環境制御の最適化 ・画像計測による植物診断 ・光合成計測チャンバーを用いた植物診断 ・生育調査データを用いた植物診断	・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は3.75万円/回程度

機関名	講師名	所在地	窓口担当 部署名	窓口担当 係名	連絡先 (電話番号)	連絡先 (メールアドレス)	対象作物 (選択式)	技術分類					概要 (教えることのできる内容の例等)	外部講師対応時の 費用目安		
								経営データ 管理	栽培データ 活用	環境制御	自動運転 /作業軽減	センシング /モニタリン グ			その他	
鳥取大学	研究者名： 森本 英嗣 准教授	鳥取県鳥取市 湖山町南4- 101	農学部	庶務係	0857-31-5343	ag-svomu@ml.adm.tottori-u.ac.jp	稲作		○			○		○	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業研究者が所属。 スマート水稲栽培において、スマート田植え機・スマート追肥システム、倒伏判定システムを開発し経営継承に活かすプロジェクト等を実施。 講義に対応可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）及び謝金が必要 ・謝金については要相談
広島大学大学院統合 生命科学研究所		広島県東広島 市	生物学系総括支援 室	総務担当	082-424-5324	sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp	畜産（酪農）	○	○ (飼養 データ)	○	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜生産機能学、家畜飼養管理学、陸域生物圏フィールド科学分野に、先進的設備を活用した乳牛の飼養・栄養・管理などに関するスマート酪農研究者が所属 (https://www.hiroshima-u.ac.jp/life/research/bioresourcescience/) ・搾乳ロボット導入による飼養管理技術や、暑熱環境制御、照明制御および行動制御に関する研究を実施。 ・乳房炎や消化管疾病などのモニタリングや疾病予防に関する研究を実施。 ・環境負荷（メタン・窒素排泄）低減や飼養効率向上のために、個体差の情報を活かした選抜や管理に関する研究を実施。 ・講義に対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は5,010円/時間程度
広島大学大学院統合 生命科学研究所		広島県東広島 市	生物学系総括支援 室	総務担当	082-424-5324	sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp	その他	○	○						<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済農学分野に農業経済学、農業市場学に関する研究者が所属。 ・園芸作物へのICT技術導入がもたらす農業経営改善への効果に関する研究を実施。 ・講義に対応可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金の目安は5,010円/時間程度
県立広島大学生物 資源科学部	地域資源開発学科 朴壽永教授	広島県庄原市	総務課	総務係	0824-74-1000	s-soumu@pu-hiroshima.ac.jp	全般		○						<ul style="list-style-type: none"> ・23種類の統計的検定の自動化（スマート化）を実現したWebアプリケーションBuMocを開発し、統計思考力（統計的問題解決力）の育成教育を実践した研究者が所属。 ・統計分析の知識や経験がなくてもBuMocを用いることで、統計思考を意欲したマーケティング調査や合意形成、戦略策定等の力を養うことが期待できる（参照 http://doi.org/10.20729/00204516）。 ・講義や演習に対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金は依頼元の規定とおり
県立広島大学生物 資源科学部	地域資源開発学科 谷垣悠介講師	広島県庄原市	総務課	総務係	0824-74-1000	s-soumu@pu-hiroshima.ac.jp	施設園芸		○						<ul style="list-style-type: none"> ・作物の生体リズムを計測し、そのリズムから生育状態を診断する研究 ・施設園芸、特に植物工場での作物栽培や取得データ活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金は依頼元の規定とおり
鹿児島大学農学部	担当教員：神田英司	鹿児島県 鹿児島市	農学部・共同獣医 学部等総務課	総務係	099-285-8510	nksoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp	施設園芸		○	○			○		<ul style="list-style-type: none"> ・水稲作、畑作におけるセンシング、モデリングを研究。 ・施設園芸（特にピーマン）について、環境制御技術を活用しつつ、栽培データを収集し、栽培管理に活かすプロジェクトを実施。 ・講義に対応可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費（実費）、謝金が必要 ・謝金は依頼元の規定とおり